

一般質問

川下
議員

○新型コロナウイルス感染症第二波
を見据えた市内経済への対応等について

質 第二波は必ず来るといふ専門家もいる。第二波が来た時に今回と同じように一斉の控えやキャンセルがあれば、市内経済は大変なことになる。市長はどのように対策をお考えか。

市長 まずは新型コロナウイルス感染症の予防に努めることが必要であると思っており、市民の皆様により徹底をお伝えすることが結果として市内の経済を守ることにつながると思っています。国においても、業界ごとのガイドラインを示されており、これに従って、それぞれの業界で感染防止に努めていただくことが必要と思います。

○新型コロナウイルス感染症における家庭と学校との連携等について

質 今回質問に取り上げることによって、親御さん達の不安が少しでも解消されることを願っております。臨時休校による授業時数のカバーを今後どのようにしていくのか。

学校教育課長 夏季休業を短縮し、小学校6日間、中学校8日間の授業日を設定することにより、授業日数

及び標準授業時間数を確保できるようにしています。なお、今後、再度臨時休校等を行うような場合には、長期休業中のさらなる授業日の設定、5時間授業を予定した日に6時間授業を行うなど、必要な授業時数の確保に努めます。

質 国の二次補正では、教員の増員について可能となっているが。

学校教育課長 県の教育委員会に確認したところ、文部科学省が示している加配の要件に当たらないため、現在の段階では配置できないことになっていきます。

質 親御さんより、長い休校の間に勉強させることが難しかったことやインターネットやゲームのプレイ時間、スマホとの付き合い方などの指導が難しかった、また、教育について夫婦間で言い合いになったりした、とお話を伺った。学校現場はどのような声を吸い上げて把握し、今後の教育につなげていっていただきたい。

教育長 今後、休校期間中の子どもたちの様子や保護者の悩みについて、学級懇談会や家庭訪問等で聞き取りをし、今後の対応に生かしていきたい。また、臨時休校中の生活や学習の面で気になったことや課題となった点をPTAの研修会で出し合って、保護者と教職員がそれぞれの立場で指導すべきことを再確認し、学校と家庭がこれまで以上に協力して指導することも大切であると考えています。

一般質問

武部
議員

○今福町浜ノ脇地区災害復旧工事着手時期について

質 現場は手つかずの状態で十箇月となりました。国や県との協議が新型コロナウイルスの影響により遅れていたが、近々、災害査定を受ける段階と聞きましたのでお尋ねします。ただいまの進捗状況と工事着手の時期は。

建設課長 現在、災害査定に向け、決定した復旧工法について詳細な設計を進めています。災害査定の実施時期は、現時点で7月を予定しています。仮に7月中旬に災害査定が実施され、その後の手続が順調に進んだ場合には、10月中の工事着手になる見込みですが、長崎県の支援を受けながら、さらなる手続の短縮を図りたいと考えています。

質 梅雨時の大雨、台風による豪雨で、災害が広がるおそれがある。その対策は考えているか。

建設課長 これまでに、仮設排水路の設置や崩壊した土砂の流出を防止する大型土嚢の設置などの応急対策を実施してきました。また、雨量計、地中移動を測定する計器及び地表面の移動を測定する計器を被災直後から設置しています。さらに、異常を

感知した場合の関係機関との連絡体制やそれぞれの行動計画を構築し、迅速な避難対応を行うこととしています。

○休校中による各教科末履修内容の対応、授業数の遅れを取り戻すための学習指導について

質 夏休みを利用しての授業で取り戻すことができると聞きますが、夏休みを削減したり、補習授業を行ったりして詰め込むと、不登校になる子どもが出てくるのではないか。また、中学3年生を持つ親御さんにとっては、休校中、都会の子どもたちはオンラインによる学習や塾に通って勉強していると聞くが、中総体、球技武道大会、陸上競技大会、運動会、修学旅行と過密スケジュールとなっている中、どうやってこの差を縮めるのかお尋ねします。

学校教育課長 臨時休業中の適切な家庭学習や家庭訪問・電話連絡での状況確認や個別支援、臨時登校日の直接対面による学習指導を行ってきた。学校再開後は、学習内容の定着状況を確認し、補充授業を実施しました。今後、夏季休業中に授業時数を確保します。

質 総合的学習はどうするつもりか。

学校教育課長 今後、授業時数を確保しながら、各学校でしっかり取り組んでいきたいと考えています。